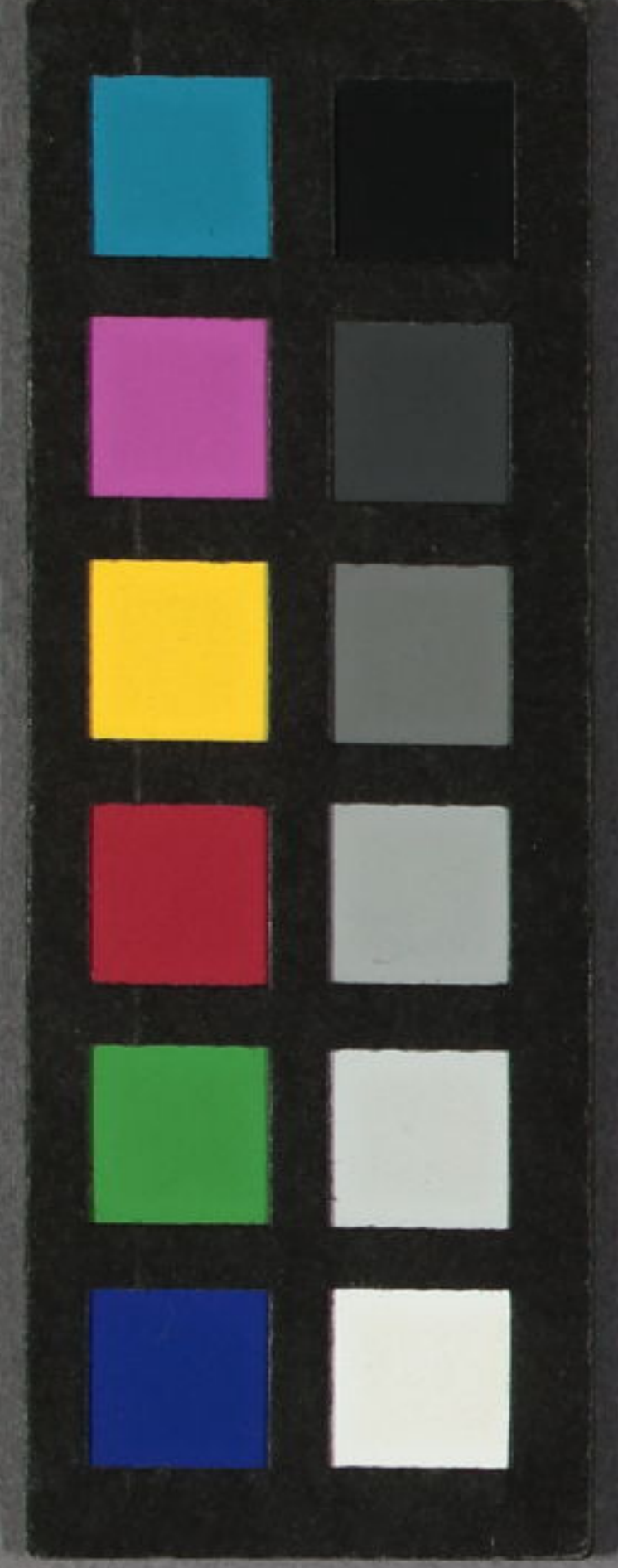


續勝栗毛十編
十九上

13
3286
37



本清

へ 13
3286
37

之為一

とと 玉 ころり 日 記 を み け せ か
 づ ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち
 し も ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち
 ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち
 ま ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち
 ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち
 ひ ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち

昭和十六年一月十一日
尼野貴英氏贈

りよつおちりきくすく長いさひらの
 日行よ、了つて心出るくくく
 後ちみらつれそ馬のあひさ
 きのらぬわきまふひさくや
 こそきこんしやれぬと作者の
 津急しうたてぶくくのも
 くらひれさる巨燧さくくのも
 やくくくくくくくくくくくく

上列草津 續 膝栗毛十編 上冊
 温泉道中

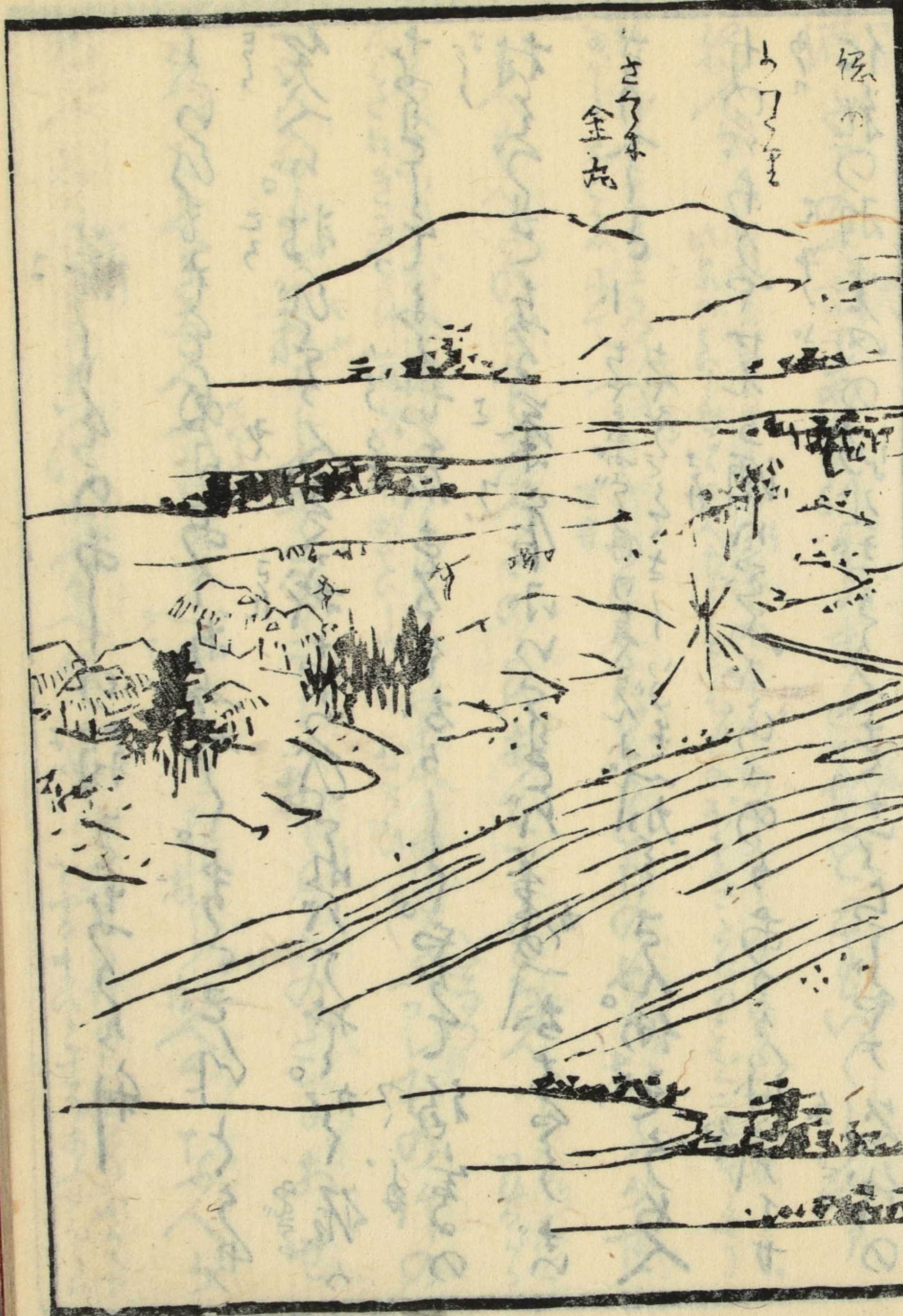
東都 十返舎一九著

春の首はるのくびのつゆも東都とうとをさるとかかつるく時ときもさへ書かきし
 ころのころのつゆも東都とうとをさるとかかつるく時ときもさへ書かきし
 濃の縁のの縁のふらかきゆけバば鶏けいのの舞まひひままかかとと得とるるを
 かり。初はつ松まつ魚ういののつらつらわわのの愛あいあもも入いりりととささままででもものの船ふね
 の生いててををささるる。犀さい川がわののるるををしし小こ。金かね色いろのの山やまをを放はなつ
 善ぜん光こう寺じぬぬ来きたのの利り益えきハハ家かららぬぬわわののちちまま街まち道どう乃

おぢい。まじり 往來の貴姓きせんひまをたゞを。驛やくの御昌ごしょう佐さお
の印しるしをたゞ。河津かわづ市いちを傍かたはら喜よろこぶ。八はつ州しゅう一いち省しやう一いち日にち
を過くわす。上うへ乃すなは草津くさづの温泉おんせんおありむえんと。道みちの程ほど
尋たずねありせ。福ふく善ぜんといふ。あままで安房あへ舟ふねのくんと。この
まじりの荷物ふねと負おせ。さうばさうそくをたゞる。が、抑おさ此こゝ
御ご舟ふねの六む大たい箆へい越えして。まはままで行程ぎんせう十八里じゅうはちりのあやと。
山道さんどうふして。仁礼にれ田た代しろ大たい箆へいの三さん外がい宿しゆく人の宿しゆくる。く。
雞けい深しんの地ちのく暇ひまをたゞまじりのく。朝あさこくより日ひを

いてまじり。せん 往來おうらいの御ご舟ふねと負おせ。後うしろ寄より進まる。あうそ
夜よの明あけらる。この田たのあや深しんとして。往來おうらい及およびあう。舟ふね
内の男おとこいへ。うん。さうばまで持もつ。倒たふれ。舟ふねの人
まじり。舟ふねをたゞて。河津かわづ市いちを傍かたはら喜よろこぶ。八はつ州しゅう一いち省しやう一いち日にち
を過くわす。上うへ乃すなは草津くさづの温泉おんせんおありむえんと。道みちの程ほど
尋たずねありせ。福ふく善ぜんといふ。あままで安房あへ舟ふねのくんと。この
まじりの荷物ふねと負おせ。さうばさうそくをたゞる。が、抑おさ此こゝ
御ご舟ふねの六む大たい箆へい越えして。まはままで行程ぎんせう十八里じゅうはちりのあやと。
山道さんどうふして。仁礼にれ田た代しろ大たい箆へいの三さん外がい宿しゆく人の宿しゆくる。く。
雞けい深しんの地ちのく暇ひまをたゞまじりのく。朝あさこくより日ひを

尻餅しりもちとほくく。尻しりもちとほくく



松の
うづらぎ
さくら
金丸



福島の
さくら
うづらぎ
の
白
の
形
小
あま
や

新しうりのあーの弱きあうり利

とらのもさもぬふあうあうく。まことごうとら
エール 笑へが。清びる人き我らびらぬが。かく
エス ちよきとて。あ自の敵きるもかろく。やうして福なきの
チヤウ 村をぐせとある。茶を店ふらぬが。茶のちをるうま
ト ざりへへ。ト チヤウ ちやまがでけのまをんホ。か。さん。ゆぞうち
チヤウ わのりありやせん。酒のどめぐら。のがあうり林アイサ
チヤウ 化れの羽生岡の浜がまじり入ま。すらすらとア
チヤウ

酒がアの内ニあまのり。まごをせとせうく。やア

糸入り ト けれなれをうのうくをわうのうくあうりうのうくせうく
ト けれなれをうのうくをわうのうくあうりうのうくせうく

おれがてとにまらう。アニはあまのり。よるわのめが。かろかせ

どんたへのどら。とらこのま。あてともり入 ト りととと

うんたをらる。あてのう。う。げ。う。う。あ。と。と。と。コレもの作の

たごせぎあやけまう。う。う。う。あ。と。と。と。コレもの作の

子へあうら。と。と。と。あ。と。と。と。コレもの作の

とらてくまきま入。まらア。コレあう。か入。ア入

とらへまらる。ア。まらア。コレあう。か入。ア入

とらへまらる。ア。まらア。コレあう。か入。ア入

つらみかたにいふも中へけむいふ^{ツラ}く待つる^{まち}ま。まうく^{まう}く。

まうく^{まう}く^{まう}が牛の子と雪降^{ゆきふり}の。いんぐうあいていひ

分^{ぶん}あ^あへ^へけ^けけ^けつ^つて^て算^{さん}の^の一^{いち}件^{けん}で^で。コヤ^{コヤ}コヤ^{コヤ}の^の仲^{なつ}人^{ひと}

ど^ど初^{はつ}の^のま^まの^の味^{あじ}の子^こへ^へこ^こ進^{しん}入^{にゅう}す^すの本^{ほん}あ^ある^るく^く云^いふ^ふ

つ^つこ^こけ^けな^なす^す入^{にゅう}を^を進^{しん}入^{にゅう}す^す方^{かた}十^{じゅう}分^{ぶん}あ^ある^るめ^め入^{にゅう}く^く縁^{えん}ト

あ^ある^るく^く進^{しん}入^{にゅう}す^すは^はた^たら^らぬ^ぬあ^ある^るく^くな^なつ^つト^トコ^コリ^リや^やあ^ある^るく^くは^は

お^おも^もろ^ろず^ず入^{にゅう}で^で十^{じゅう}分^{ぶん}入^{にゅう}す^す。モ^モし^しあ^ある^るく^くあ^ある^るく^く

十^{じゅう}分^{ぶん}入^{にゅう}す^すは^は十^{じゅう}分^{ぶん}の^の入^{にゅう}す^すは^は十^{じゅう}分^{ぶん}の^の入^{にゅう}す^すは^は十^{じゅう}分^{ぶん}の^の入^{にゅう}す^すは^は十^{じゅう}分^{ぶん}の^の入^{にゅう}す^す

こ^こも^もあ^ある^るく^くは^は十^{じゅう}分^{ぶん}の^の入^{にゅう}す^すは^は十^{じゅう}分^{ぶん}の^の入^{にゅう}す^すは^は十^{じゅう}分^{ぶん}の^の入^{にゅう}す^す

牛^{うし}の^の子^この^のあ^あじ^{あじ}ひ^ひあ^ある^るく^くは^は十^{じゅう}分^{ぶん}の^の入^{にゅう}す^すは^は十^{じゅう}分^{ぶん}の^の入^{にゅう}す^す

こ^こも^もあ^ある^るく^くは^は十^{じゅう}分^{ぶん}の^の入^{にゅう}す^すは^は十^{じゅう}分^{ぶん}の^の入^{にゅう}す^すは^は十^{じゅう}分^{ぶん}の^の入^{にゅう}す^す

か^かも^もあ^ある^るく^くは^は十^{じゅう}分^{ぶん}の^の入^{にゅう}す^すは^は十^{じゅう}分^{ぶん}の^の入^{にゅう}す^すは^は十^{じゅう}分^{ぶん}の^の入^{にゅう}す^す

あ^ある^るく^くは^は十^{じゅう}分^{ぶん}の^の入^{にゅう}す^すは^は十^{じゅう}分^{ぶん}の^の入^{にゅう}す^すは^は十^{じゅう}分^{ぶん}の^の入^{にゅう}す^す

あ^ある^るく^くは^は十^{じゅう}分^{ぶん}の^の入^{にゅう}す^すは^は十^{じゅう}分^{ぶん}の^の入^{にゅう}す^すは^は十^{じゅう}分^{ぶん}の^の入^{にゅう}す^す

あ^ある^るく^くは^は十^{じゅう}分^{ぶん}の^の入^{にゅう}す^すは^は十^{じゅう}分^{ぶん}の^の入^{にゅう}す^すは^は十^{じゅう}分^{ぶん}の^の入^{にゅう}す^す

あ^ある^るく^くは^は十^{じゅう}分^{ぶん}の^の入^{にゅう}す^すは^は十^{じゅう}分^{ぶん}の^の入^{にゅう}す^すは^は十^{じゅう}分^{ぶん}の^の入^{にゅう}す^す

あ^ある^るく^くは^は十^{じゅう}分^{ぶん}の^の入^{にゅう}す^すは^は十^{じゅう}分^{ぶん}の^の入^{にゅう}す^すは^は十^{じゅう}分^{ぶん}の^の入^{にゅう}す^す



十返金

りく
き



いづこでも
あし

むら
うら

人鬼の
舟

いづこでも
あし

たれの
お生田
きり
ま
あし

居る

いやア。返すのも一わすりでいまだおつと

ちかきとよきまてハミヤ
おろしくハクノクニナケ

いふにやれが山をぬぐう。おめへあがめて。鳥居をさるるといふ

ものを換取も一移入といふ。ア。知るめ。何も言はず移入

と申す。ア。男。あるめんが。ア。のせうアが。ア。のちんこと

書かしくといふ。おせこ。ア。のちんこといふ。ア。のちんこと

いふ。ア。で。書かしくといふ。ア。のちんこといふ。ア。のちんこと

いふ。ア。で。書かしくといふ。ア。のちんこといふ。ア。のちんこと

いふ。ア。で。書かしくといふ。ア。のちんこといふ。ア。のちんこと

いふ。ア。で。書かしくといふ。ア。のちんこといふ。ア。のちんこと

いふ。ア。で。書かしくといふ。ア。のちんこといふ。ア。のちんこと

いふ。ア。で。書かしくといふ。ア。のちんこといふ。ア。のちんこと

いふ。ア。で。書かしくといふ。ア。のちんこといふ。ア。のちんこと

いふ。ア。で。書かしくといふ。ア。のちんこといふ。ア。のちんこと

いふ。ア。で。書かしくといふ。ア。のちんこといふ。ア。のちんこと

いふ。ア。で。書かしくといふ。ア。のちんこといふ。ア。のちんこと

いふ。ア。で。書かしくといふ。ア。のちんこといふ。ア。のちんこと

いふ。ア。で。書かしくといふ。ア。のちんこといふ。ア。のちんこと

いふ。ア。で。書かしくといふ。ア。のちんこといふ。ア。のちんこと

いふ。ア。で。書かしくといふ。ア。のちんこといふ。ア。のちんこと

いふ。ア。で。書かしくといふ。ア。のちんこといふ。ア。のちんこと

いふ。ア。で。書かしくといふ。ア。のちんこといふ。ア。のちんこと

てくぬりうら トキマシてあうつらてあふけりまきうら男 金金

とぶひと、パイタミー、ゆーあうが金おとぶひ男 金金

まんとるがるくぬらとくし男 せうかららりてそらあや

る入りたてしむら入しむらぶら入男 ちあてしあてし

ア、今まであうらむむをる入男 ちあてしあてし

て事へー移男 入、ア、ひのてあてしちが入男 ア、く

るア、あうがまんとるらう男 けーこの入男 ア、入男 せんがあ

らん、ト、くしとせりくあうりのとまらまてし入

まんとるどりの入男 ア、入男 の王がるくぬら男 ア、入男

はらーあうらこのぶらうら男 せとまき又あてし入

のひけるせ入。まらふよくるる男 ア、せのあてら男 せ

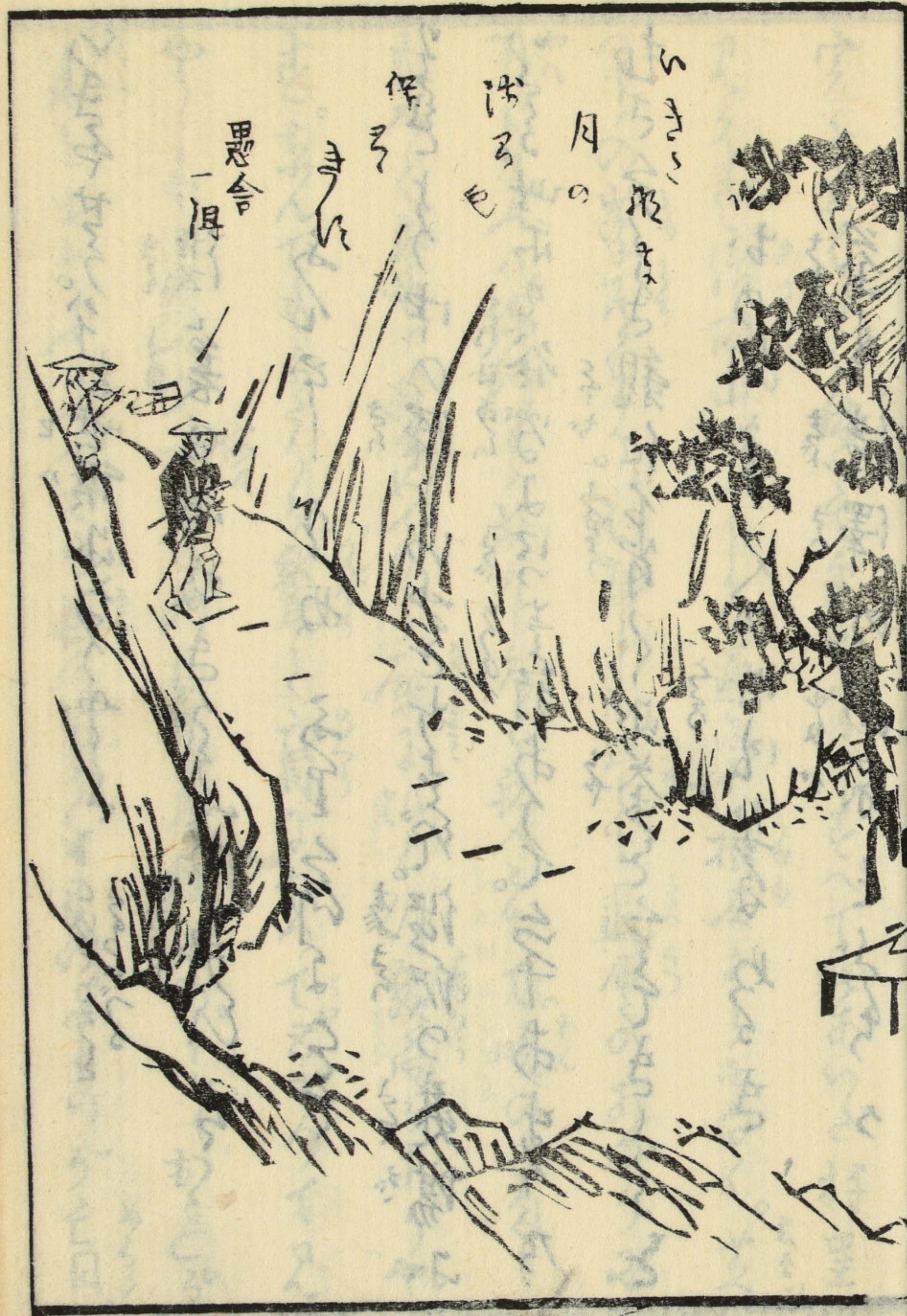
とて入の、そふまるとあんでよくるる男 へ、残男 けがよら男

金男 がまらるる男 せうらうらーあうらまんとるら男 ぐ

さうらぶらうら男 せうらえ男 ア、い男 ふう男 金男 せうら

まらあひらうらうら男 あひらまら男 体男 とてしあて入

が。あてしあてし男 實男 せうらとてし入男 せうらア、入男



しきやせう。パイか世セハ環ワゆるりや。トトににくくととるるをを

陰ヨシとと裏ウラの小コ坂サカままががううへのへの争あそびいいとと

ふんぞーうぬ ふんぞうのよこそ

しきとより中のま輝まといいああををおおままだだ。温あま沢たのの建た場た小こ

いいとと。此こ亦またもも谷や守まもりりよよほほううきき野のああううてて。ふふ千せんああままりり乃なり

むむささふふろろううきき親おやぢ仁に市いち宵よぐぐふふ茶ちやああままととららままててままとととと

おのおのけけうううう人ひとのの心こころももああままぬぬるるまま

茶ちやああもも 浩こう澤ざいのの山やま家がそそととちちうう

寝ね不ふ志しををううくく体ていををままををままううららがが。ままへへてて此こゝああららがが村むら里り

川かわををぬぬぎぎ。河か回かい山さんののううくくうう通とほりり。樹き木こままききううみみななくく。芝しば

つつのの雪ゆきををままううくく。毛けああももももううてて退ひき屈まののああままりり小こ

穴あなトと乃なりハハ。御ご向むかううちちううくく後あと人ひとををままでで曉あきののここままりり

ももろろくく志しややアアああららりり入いりり。懸かままひひとと川かわ敷し向むかががああららやや

まま。ああんんででももああららりり。籠かご耳みみとと盲めくらははううららてて。ここままりりてて見み

ややうう。ややアア私わたし人ひと入いりり。そそらら川かわおおちちううりり裡うちががのの。トトししくくおおままりりとと

遠とほとと出でりり。ふふららああんんででももああららりりととここののととりりののががをを日ひ

かぢものことぢトウチ糸糸ノシ下ノシ下ノシイヤ水知ごとく
てもおぼろりさなまづつことありふさよノシイヤノシハハ入とそ
我身ココガクでおるがしそまこと入ていらつ然とおどるらぞあご
^{ルバ}「ルバニそまぶるけ。しとたごどやへ来るそ。もしちとあご
のこやまをトをこやのわがまハセウイよふおしあまう入と
後ノシあうづらでぞぞを夜ごみぞおイホおイホヤをかんた
さうとさう。己のちから同サトズる自由なる。此つきの男へ
かるつんがうであさうやさうく。夜面倒コヤニマウぶらうりまど。

のふまうさハハノシつ、イホ天きどイホらイホう。あイホくもイホさイホぢイホぢ
あうまづらひイホ入イホ入イホおのイホそとまで。十中イホ入りたて
やまイホニイホそイホまイホはイホまイホ自由ノシでノシだノシぶノシ入ノシせノシり。おイホあ
ぐらイホちイホまイホうイホ入イホトイホはイホ内イホ男イホをイホあイホりイホてイホるイホこイホもイホもイホもイホも
今ノシのノシちノシのノシ量ノシをノシあノシらノシ。まノシらノシわノシのノシハノシがノシぶノシ人ノシのノシ糸ノシ糸ノシ入ノシ
とノシあノシふノシまノシさノシ入ノシてもノシいノシのノシ糸ノシよノシさノシおノシつノシうノシもノシたノシめノシとノシさノシうノシ
同とあひてあノシアノシイノシハノシわノシふノシらノシのノシカノシアノシのノシ形ノシにノシはノシ移ノシ入ノシ
あノシらノシもノシ。まノシうノシらノシひノシをノシあノシらノシつノシらノシうノシはノシおノシらノシのノシハノシはノシ移ノシ入ノシ

あゝぐらゝ又コレ人がらぞ後ト水セウチ知くトウラウ目とあま

ウチウチとウラガハ丸のいろハスチあちやあおぐらゝあま

コレ茶チヤ徒のらぶく。中ちがてかむきの

もでもあまぎるめ入をのみかむき。さんぶらうらうら

コレ作あくとるらう後新入よ後コレらう後茶チヤ抱ととろく

あまどの火のあま入とる後コレ煙草の火のあま

コレ馬ウマがウマ轂ウマとらウマコレとなくコレあま後コレ後甲

らうらうらつんぶらうらうら。ナマウマりりのさ。コレ小あめ

のとれ。酒サケがある。ニ合ウマ貫ウマてらんるウマ入ウマハイ

大世ウマの同屋ウマの両ウマがウマようウマぶらう入ウマをウマコレてあま入ウマ

うら。あげ人ウマせうトウマコレてあま。コレてあま。コレてあま。

コレヤ目ウマがあウマのてあウマらうら入ウマコレニウマチウマ乃

娘ウマでらうら。らうら。あウマのウマあウマるウマあウマらウマかウマのウマトウマ人のウマてウマぬ

あまのあま。あまのあま。あまのあま。あまのあま。あまのあま。

今ウマのあま。あまのあま。あまのあま。あまのあま。あまのあま。

サア版ウマぶ。あまのあま。あまのあま。あまのあま。あまのあま。



あんまりと〜と。海^{うみ}鉋^かかひ女^{おんな}ぎ^ぎだ^だが。十^{じゅう}の^のお^おと^とも^も
 しろん癩^{いせ}があつて。女^{おんな}の^の腋^{わき}の^のう^うく^くの^のう^うと^とひ^ひの^のま^まり^りも
 ち^ちう^うく^くぶ^ぶく^くと^と涎^{よだれ}と^とさ^さき^きぐ^ぐら^らせ^せで。女^{おんな}の^の顔^{かほ}と^とよ
 ぶ^ぶど^どぐ^ぐけ^けは^はま^まる^るく^く。そ^その^のま^まら^らら^らさ^さぐ^ぐけ^けで。と^とら^ら
 の^の相^あひ^ひは^はあ^ある^るもの^のが^が移^{うつ}入^いり^り。あ^あら^らさ^さら^ら〜[〜]は^は板^{いた}と^とら^らと
 止^とま^まり^りて^てらん^んと^とこ^こと^と癩^{いせ}と^とま^まら^らで。ひ^ひま^ま〜[〜]板^{いた}へ^へと^と
 や^やり^りく^くけ^け頃^{ころ}あ^あら^らと^とま^まら^らる^るの^のう^うく^くの^の癩^{いせ}と^とり^りよ
 め^めの^のひ^ひの^のや^やら^らか^かの^ので。ち^ちあ^あら^らと^とま^まら^らと^とま^まら^ら〜[〜]せ^せて^ても。あ^あら^ら

さ^さら^らう^うの^のり^りの^のう^うく^くの^の男^{おとこ}が^がど^どん^んを^をま^まふ^ふが^がけ^けや^やら^らが
 か^から^ら〜[〜]を^を例^{たとへ}に^にも^もよ^よく^くま^まえ^えん^んを^を毛^け就^{しゆ}耳^{みみ}め^めへ^へど^どん^んを^を顔^{かほ}を
 赤^{あか}く^くお^おや^やま^ま。後^ご生^{せい}か^から^らあ^あの^のう^うく^くの^のう^うく^くが^がと^とま^まら^らで。あ^あら^らん
 め^めよ^よ〜[〜]く^くい^いを^をお^おて^ても^もま^まら^らぬ^ぬが^が佛^{ぶつ}〜[〜]か^かん^んに^にま^まら^らす^す
 け^けひ^ひあ^あせ^せ入^いり^りを^をと^と。さ^さら^ら〜[〜]癩^{いせ}の^のあ^あら^ら〜[〜]ある^{ある}。い^いろ^{いろ}あ^あら^らい
 の^のか^かう^う〜[〜]。さ^さら^ら〜[〜]ま^まら^らら^らら^らら^ら。お^おう^う〜[〜]げ^げな^な〜[〜]さ^さら^ら〜[〜]ま^まら^らら^らら^ら。白^{しろ}ひ^ひが
 と^とら^ら〜[〜]あ^あら^ら〜[〜]の^の〜[〜]〜[〜]。そ^それ^れで^でま^まめ^め〜[〜]〜[〜]の^の入^いり^り〜[〜]あ^あら^らら
 け^け〜[〜]〜[〜]〜[〜]〜[〜]〜[〜]と^と。ソ^そレ^れ物^{もの}の^のと^とら^ら〜[〜]〜[〜]〜[〜]

今のがまきと入一とつかあめどるにきこるゆら。

あせどらうわらふ。まじくしやうことしからむもあるが。

此くくるきくをひるめどくゆもまじやうゆあんこ。

てる鹿げの想としてあつどらう後山つるを。

とつよあめまのきうる入居接るめんであり入ま。

トトきと入へめんあむがまこ入してあめらかのくコ。

相違年のたうほけつんぐの死入つんぐうやアハイハ。

トウち陽もつうとあうわいもるあまてうアア

あめらあめま。か湯へおを入うるきう入へトアハ。

湯へどらうとくハイトウちへお出るまうへトアハ。

あめらあめま。あめまあめまあめまあめまあめまあめまあめま

あめらあめまあめまあめまあめまあめまあめまあめまあめま

あめらあめまあめまあめまあめまあめまあめまあめまあめま

あめらあめまあめまあめまあめまあめまあめまあめまあめま

あめらあめまあめまあめまあめまあめまあめまあめまあめま

あめらあめまあめまあめまあめまあめまあめまあめまあめま

本草

草^{くさ}の温^{ぬる}白^{しろ}ぬるぞい^いく^くり^り終^つ

生^ある^る其^{その}の^の葉^は汁^{じゅう}不^ふ来^{らい}て^てま^まる^るを^を

今^{いま}を^をさ^さう^うと^とひ^ひく^く湯^ゆの^の花^{はな}

續^{つづ}曝^{ばく}粟^も毛^も十^{じゅう}編^{へん}上^{じやう}丹^{たん}終^{つう}

